

機能保全計画一覧表

漁港名	野口漁港	計画策定年度	2018
地区名		計画策定期間	50(y)

(1)施設現況調書					(2)施設機能診断							(3)施設機能保全対策														
管理番号	(施設番号)施設名称	延長(m)	構造形式	主要部材	履歴(年度)		経過年数(y)	建設又は取得の価格(千円)	機能保全レベル	簡易調査結果		詳細調査結果			現時点での保全対策				将来の保全対策				LCC(百万円)			
					建設(初回)	改良(最終)				健全度評価	空洞調査		鋼材肉厚調査			対策要否	対策工法	対策時期	対策コスト(百万円)	老朽化進行予測法	対策工法	対策時期(次回)		対策コスト(百万円)	対策サイクル(年毎)	
											a,b判定の内容	健全度	空洞有無	空洞原因	初期(mm)											設計(mm)
1	(4)防波堤	50.0	直立堤	石材	1954	1954	64	0	3	a判定: なし b判定: 天端Coひび割れ	C	-	-				否	(当面観察)	-	-	健全度遷移 (経過年数)	更新	2050	-	50	0
2	(12)護岸A	54.0	直立堤	コンクリート	1987 (西防波堤)	1998	20	34,297	3	a判定: なし b判定: なし	C	-	-				否	(当面観察)	-	-	耐用年数法	更新	2048	-	50	39
3	(26)護岸	71.0	直立堤	コンクリート	1955 (6防波堤)	1994	24	1,261	3	a判定: なし b判定: 上部工損傷	C	-	-				否	(当面観察)	-	-	耐用年数法	更新	2044	-	50	0
4	(42)護岸B	69.0	傾斜堤	石材	1986 (東防砂堤)	1998	20	22,011	3	a判定: なし b判定: なし	C	-	-				否	(当面観察)	-	-	耐用年数法	更新	2048	-	50	25
5	(56)道路護岸	34.5	直立堤	コンクリート	1997	1998	20	26,318	3	a判定: なし b判定: なし	D	-	-				否	(当面観察)	-	-	耐用年数法	更新	2048	-	50	29
				鋼矢板	1997	1998	20		3	a判定: なし b判定: なし	D	-	-	9.2	9.2	(埋没)	否									
6	(57)用地護岸	56.2	直立堤	コンクリート	1998	1998	20	49,272	3	a判定: 水叩工沈下 b判定: なし	A	有	明確				要	裏込設置工 +	2019	3.8	-	-	-	-	-	3.8
				鋼矢板	1998	1998	20		3	a判定: 水叩工沈下 b判定: なし	A	有	明確	9.2	9.2	重防食	要									

※(57)用地護岸の健全度Aとした変状の状況は、上部工と水叩工とに
段差・沈下が見られ、空洞も確認されたものである。